

Joto

《キシパッキン》

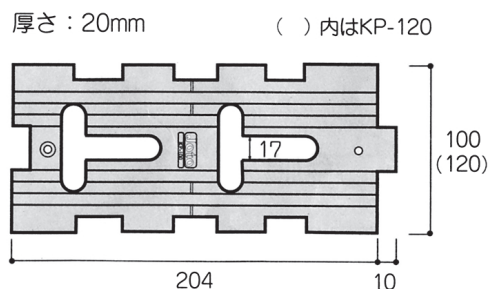
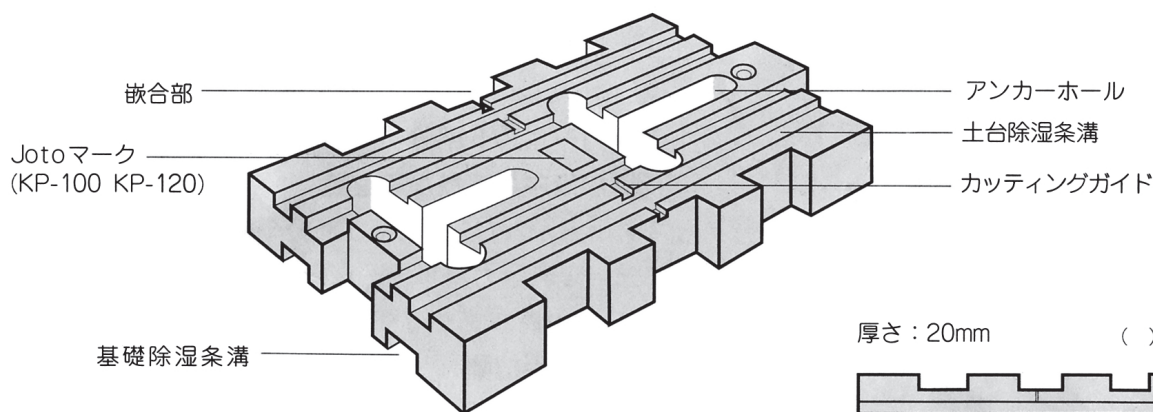
KP-100 KP-120

施工説明書

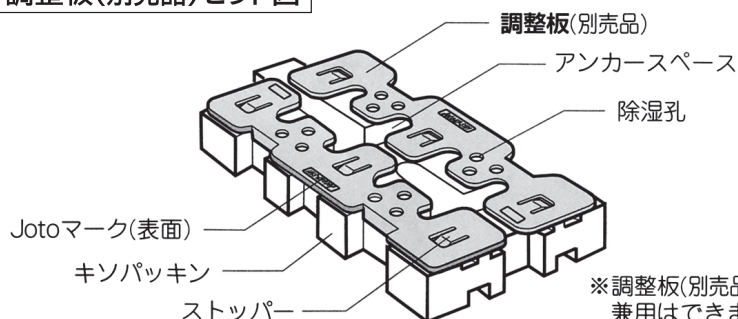
要 保 存

※本施工説明書に合わせて『Jotoキシパッキング工法』標準仕様書をご使用ください。
※本施工説明書を施工の前に必ずお読み頂き、説明書に従って正しく施工してください。

■製品説明図



調整板(別売品)セット図



※調整板(別売品)はKP-100用とKP-120用が有り、兼用はできません。

※キシパッキンの表面(上面)はJotoマークの付いている面です。

キシパッキンは、土台寸法に合わせて製品をお選びください。

KP-100:土台105角、404(204)

KP-120:土台120角

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

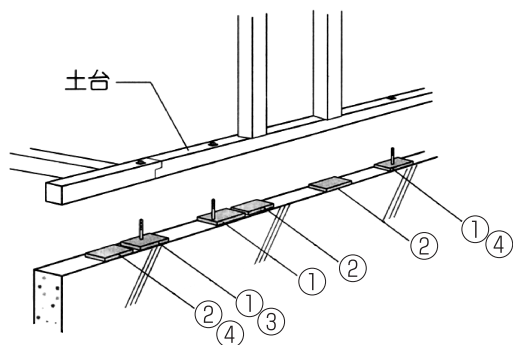
●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

⚠ 注意	
⊘	この記号は、禁止の行為を示しています。
!	この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
⊘	キソパッキンに対して、不必要な打撃を加えないでください。
!	キソパッキンに加工を施す場合は、カッティングガイド位置に従って1/2に切断する場合のみとし、アンカーボルト部分のみに使用してください。(現場で枚数が不足した場合の対応策)
	キソパッキング工法には、Joto防鼠付水切り(防鼠付通気水切り)若しくは防鼠材を必ず使用してください。(防鼠材を使用しないと法令に規定されている防鼠措置と換気面積の確保が出来ません。)
	土台敷設後、キソパッキンと土台との間に隙間が生じる箇所には、必ず専用の調整板(別売品)を使用してください。(土台の事後の不陸発生防止)

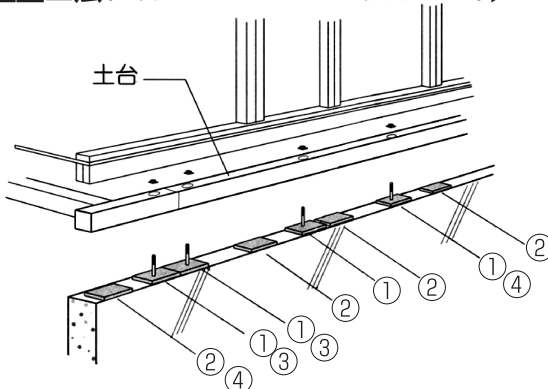
■施工ルール(敷込み位置)

※キソパッキンの敷込みは、基礎の内外を問わず全てに行ってください。

<在来軸組工法>



<枠組壁工法(土台404・204にKP-100使用のみ可)>

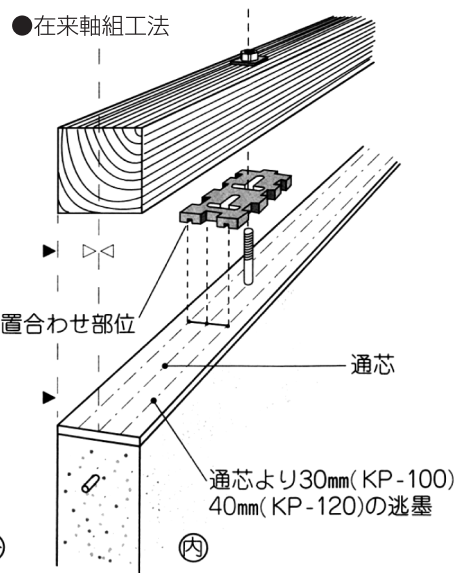


- ①アンカーボルト部分
- ②荷重が集中してかかる位置
(柱の下や大引の位置)
- ③土台の継手位置
- ④間隔3尺ピッチ
(1m以内おおむね半間間隔)

- ①アンカーボルト部分
- ②荷重が集中してかかる位置
(スタッドが2枚以上重なる部分や構造用合板の継手部分=1P耐力壁単位・床荷重のかかる位置など)
※1/2Pの中間スタッド部は対象外とします。
- ③土台の継手位置
- ④間隔3尺ピッチ (1m以内おおむね半間間隔)

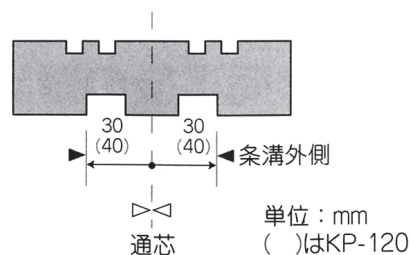
■施工手順

- ①基礎天端に通気芯より30mm(KP-120の場合は40mm)の逃墨を打つ。
 - ②基礎天端に間棹(けんざお)で、910mm(又は半間毎)ピッチの間隔に印をつける。
 - ③逃墨に合わせてキソパッキン裏面の条溝外側をセットします。
 - ④アンカーボルト箇所にキソパッキンを入れる。
アンカーボルト箇所は土台を敷いた後では入れられないので先に入れておきます。
- ※Jotoマークの付いている面を上側(表向き)にして使用してください。



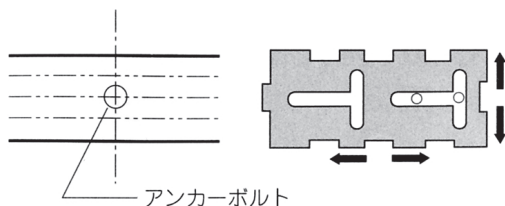
⑤端から順に印にあわせておおむね半間ピッチで
キソパッキンを配置します。

⑥荷重が集中してかかる位置にもキソパッキンを
配置します。



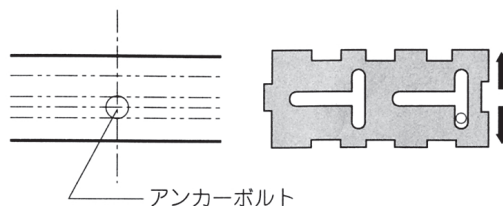
《アンカーボルトが通芯にセットされている場合》

- 幅及び軸方向調整可



《アンカーボルトが通芯より外れている場合》

- 軸方向調整不可
- 幅方向のみスライドセット可

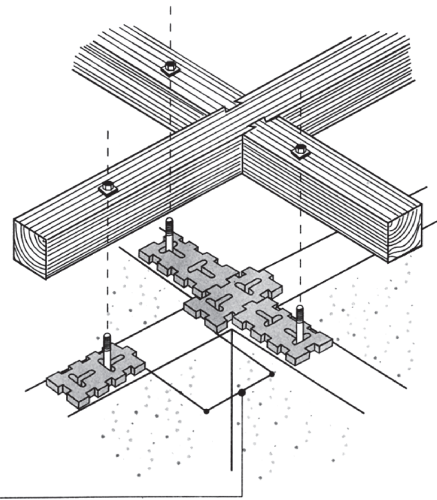
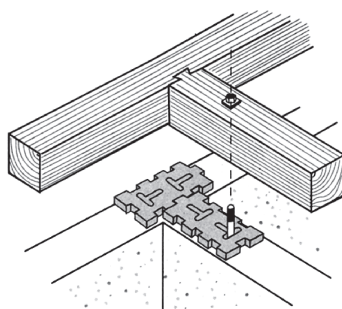
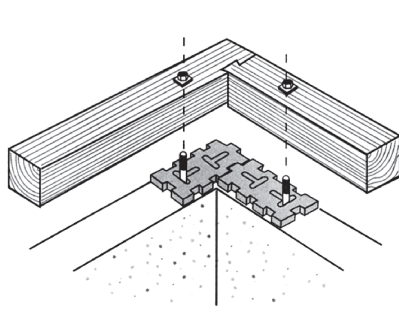


⑦土台を敷きます。土台継手部にもキソパッキンがセットされているか確認しながらアンカーボルトを締めます。

●L字のコーナーの場合

●T字のコーナーの場合

●十字のコーナーの場合



※各コーナーの土台相互の継手にキソパッキンが渡しまれる場合は、アンカーボルトの位置によりさらにキソパッキンを追加することもあります。

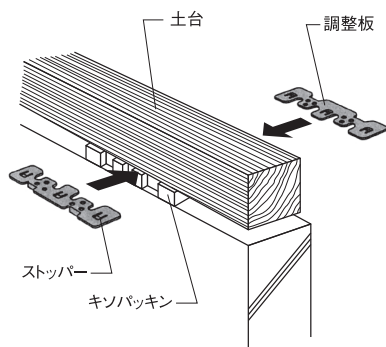
※柱位置等荷重のかかる部分に1枚以上セットされていればキソパッキン相互の嵌合部が離れていても支障はありません。

【調整板(別売品)の施工方法】

●調整板は、厚さ1mmと2mm・3mmがございます。

調整板を使用する箇所で隙間の高さが違う場合は、隙間の高さに合わせて1枚、若しくは(2枚以内で)重ねて使用してください。

※調整板の重ね枚数は2枚(6mm)以内を厳守してください。



●調整板は、左右2枚で1セット(水平レベル)ですので、必ず偶数枚で使用してください。

●調整板の取り付けは、キソパッキンの両サイド(基礎の内と外)から、キソパッキンの上(土台との隙間)に差し込み、手で入らない場合は、ハンマーで軽く叩き込んで土台の下に完全に挿入してください。

※調整板を奥まで差し込んで、キソパッキンの表面の溝(凹部)へストッパーを嵌合させ、セットしてください。

※調整板が必要な場合は、最寄りの支店・営業所へお問い合わせください。

■水切りの取り付け施工について

キソパッキングの敷き込み完了後、施工状態を確認し、次の要領に従って取り付けます。
尚、水切りの取り付け位置は工法（在来軸組工法か桢組壁工法）によって違いますので注意して取り付けてください。

■防鼠付水切りの取り付け（標準）

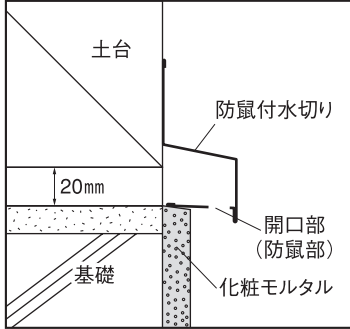
- ① 在来軸組工法の場合・・・
土台の外側に直接取り付けます。
- ② 桢組壁工法の場合・・・
土台と側根太を継ぐ構造用合板の外側面に取り付けます。

■水切りのみを取り付ける場合

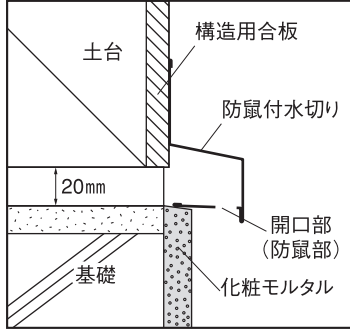
Joto水切り(WSF-40など)を使用する場合は、防鼠材の取り付け完了後、速やかに水切りの立上部を防鼠材のストッパーの上に寄せ、重ねて釘打ちにて止め付けてください。
(取り付け位置は、防鼠付水切りと同様です。)

《防鼠付水切りの納まり》

●在来軸組工法

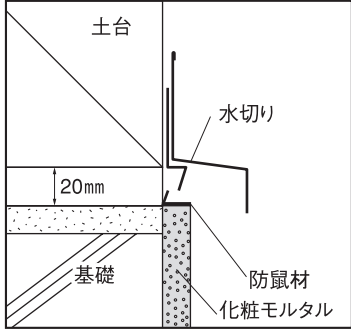


●桢組壁工法



《防鼠材と水切りの納まり》

●在来軸組工法

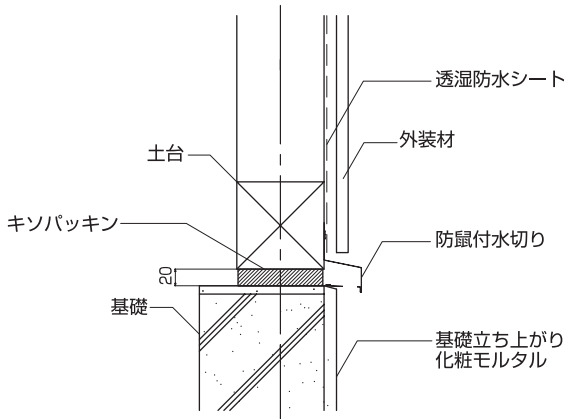


(基礎立ち上がり部の左官仕上材が防鼠付水切りの換気開口部に被らないよう注意してください。)

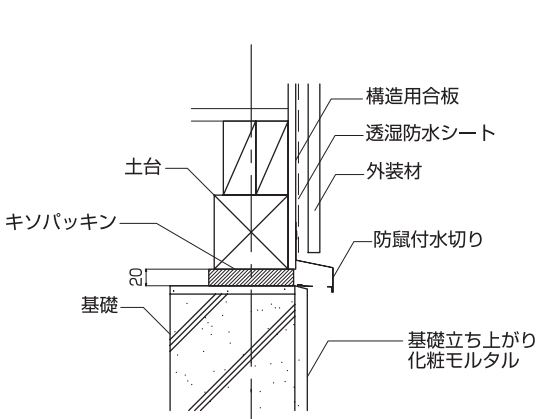
【キソパッキング工法標準納まり図】

※従来施工されている土台と基礎天端の間に敷き込まれている防湿シート等は不要です。
(換気スリット開口部分を遮蔽する弊害となるので使用しないでください。)

〈在来軸組工法の場合〉



〈桢組壁工法の場合〉



■製品仕様

品 名	キソパッキング	
品 番	KP-100	KP-120
色 ・ 柄	黒	
寸 法	100×214×20mm	120×214×20mm
材 質	JC（ポリオレフィン樹脂+炭酸カルシウム）	
梱 包	30コ/ケース	

本施工説明書の示す使用取扱い条件を逸脱した場合は、本製品に関する性能・品質及び構造体の安全性についての保証は出来ません。



本社 〒573-1132
大阪府枚方市招提田近3丁目14番地1
TEL.072-868-6611(代) FAX.072-868-6687(代)

本製品に関するお問い合わせは

ダイヤル【J】0120-106011
受付時間(土・日・祝を除く) 9:00~12:00/13:00~16:00

城東テクノホームページ

Joto
<http://www.joto.com>



Information
※Joto製品は、PL法に基づく製品保証体制を取っております。※製品の仕様は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。